

【今年度の取組目標等に関する自己評価】

① 学習指導

【成果】

- 教務部が計画的に授業公開日等に合わせ、教員相互や若手の授業参観ができる校内体制を構築し、学習指導の向上に努めた。
- 若手教員を育成するための【たけのこ会】が結成された。

【課題】

- ICT教育の活性化、オンライン教育の充実を図るとともに、一人1台端末の活用の推進を図る。
- 英検資格取得を推進し、英語教育の推進を図る。

・数値目標(カッコ内は目標値)

英語の合格者数	:	2級 1名(3名)
	:	準2級 2名(5名)
	:	3級 2名(10名)

② 進路指導

【成果】

- 本校独自の系統的進路指導「夢・人プラン」は安定的に推進することができた。
- リテラシ検定は、おおむね目標値を上回った。
- 進路指導に対する生徒の肯定的評価は、昨年度 65%から 68%に若干改善された。

【課題】

- 進路決定率は、90.5%で微減だが、ほぼ9割を維持している。

・数値目標(カッコ内は目標値)

大学・短大進学率	:	45.4%(45%)
生徒の進路決定率	:	90.5%(90%)
生徒の進路指導に関する肯定的評価	:	68.0%(70%)
検定試験(リテラス)の合格者数	:	準2級 109名(100名)
		3級 188名(160名)
		準3級 26名(35名)

③ 生活指導

【成果】

- 「生徒指導提要」を踏まえ、組織的かつ段階的な指導を推進することで、規範意識の醸成を図った。

【課題】

- 身だしなみ指導における、日常的な取組みに創意・工夫が求められている。
- 問題行動の背景の理解をさらに深める必要性が課題として残った。

・数値目標(カッコ内は目標値)

生徒の特別指導件数	:	17件(6件以下)
-----------	---	-----------

④ 特別活動・部活動

【成果】

- 体育祭は、基礎的な感染症対策を徹底し外部参観者をさせ、全学年合同でコロナ前を目指した行事として実施できた。
- 文化祭は、基礎的な感染症対策を徹底し来校者を招き、全学年合同でコロナ前を目指した行事として実施できた。

【課題】

- 部活動加入率は、昨年比減少となったため、更なる加入率向上を目指したい。

・数値目標(カッコ内は目標値)

部活動加入率 : 57.5% (75%)

⑤ 心身の健康づくりの推進

【成果】

- 前年の「生徒の健康に関する理解促進事業」を踏まえ、今年度「性の健康・リレーションシップ講座」を開催、性に関する知識等の理解がさらに深まった。

【課題】

- 特別支援教育に関する理解を、担任、養護教諭、スクールカウンセラー等が連携し深めているが、更なるより組織的な体制の構築が必要である。

⑥ 募集・広報活動

【成果】

- 学校ホームページの【今日の練高】より、ほぼ毎日の本校の情報発信を安定的に発信することができた。
- 学校説明会等への参加者は、前年比増加した。また対面での実施のほか、YouTube を活用したライブ配信を行った。運営は、部活動生徒が中心であった行えた。
- 入選倍率は、中進対、推薦入試、一次入試とやや低下した。

【課題】

- 入選倍率は、中進対、推薦入試、一次入試とやや低下した。
- 引き続き本校の魅力の発信の強化に努める必要がある。

・数値目標(カッコ内は目標値)

学校 HP 更新回数 : 227 回(300 回)

⑦ 学校経営等

【成果】

- 学校全体で、保護者対応を含め、生徒指導に取り組むことにより、大きな問題行動や苦情は減少傾向にある。

【課題】

- 生徒の弱さに寄り添った丁寧な指導による学校改善(特別指導数減少、入試倍率向上)を更に推進し、中退者数を減少させる取組を強化する必要がある。
- 文武両道を実践している生徒の活躍の場を積極的に与え、学校改善を推進したい。

⑧ ライフワークバランスの実現

【課題】

- 人事、分掌配置の観点からも男性の育児休暇取得に関する啓発を推進する必要があると求められている。